



犬を飼う際に 気を付けていただきたいこと



1 登録をしましょう

犬を飼う際は、生涯一度の登録が義務付けられています。

登録時に交付される鑑札や迷子札を犬に付けておきましょう。

マイクロチップ（体内に装着する電子タグ）の装着にも努めましょう。



2 狂犬病予防注射を接種しましょう

犬の飼い主は、毎年度、飼い犬に狂犬病予防注射を接種させ、狂犬病予防注射済票の交付を受けることが義務付けられています。



3 散歩の際、リードをしっかり保持しましょう

人に危害を加えないよう、散歩の際も、犬を制御できる長さのリードを使用しましょう。

4 排泄物は適切に処理しましょう

犬を散歩させるときは、糞を始末する為の用具を携帯し、糞は必ず持ち帰りましょう。

尿は、たくさんの水で流すか、屋外でもペットシーツにさせましょう。

マナーウェアの装着や、自宅での排泄訓練もしましょう。



5 適切な給餌・給水、飼養管理をしましょう

栄養的に十分な食物、新鮮な水を与えるなど、犬種ごとの習性等を考慮し、動物福祉に配慮した飼養管理をしましょう。



6 室内飼いに努めましょう

犬の健康と安全確保に、室内飼いは有効な飼い方です。

猛暑や極寒のストレスから犬を守る配慮が必要です。

屋外で飼う場合は、十分に遮光でき、風雨を遮れる設備を設け、鎖でつなぐか、檻や囲いの中で、逃げられないように飼いましょう。



7 喚き声には気をつけましょう

夜間・早朝、不在時などに鳴くと、近隣住民の迷惑となります。

吠える原因を突き止め、しつけ等を行い、改善しましょう。



8 不妊去勢手術を実施しましょう

望まない繁殖を防ぎ、繁殖行動の抑制や生殖器の病気も予防できます。

9 災害に備えましょう

避難場所を確認するほか、しつけを行い、キャリーに慣らせておく、フードなど動物用避難用品を5日分は準備しておきましょう。



飼う前に考える10のポイント

「動物を飼う」ということは、その動物の一生を、責任を持って面倒を見るということです。飼い始めてから「こんなはずじゃなかった」と思っても間に合いません。
『命ある動物』を飼う前に、次の10のポイントについてよく考えてください。

- 1 住まいは犬を飼える住居ですか？**
転居や転勤、単身赴任の予定はありませんか？
- 2 家族全員、犬を飼うことに賛成していますか？**
- 3 家族に、動物アレルギーの方はいませんか？**
- 4 犬の寿命まで終生飼養する覚悟がありますか？**
あなたが入院などして、万一飼えなくなったときに、代わりに飼ってくれる方(家族、友人、信託など)はいますか？
- 5 犬種に応じた運動、栄養的に十分な食物、新鮮な水を与えるなど、動物福祉に配慮した飼養管理ができますか？**
- 6 毎日欠かさず、お世話に時間と手間をかけられますか？**
高齢になった犬の介護をする心構えがありますか？
- 7 犬種やその特性は、あなたのライフスタイルに合っていますか？**
- 8 あなたの体力で世話ができる大きさの犬ですか？**
- 9 近隣に迷惑をかけないように、しつけなど適正飼養ができますか？**
- 10 犬の一生(約15年)にかかる費用(約300万円)を負担できますか？**



クリアできない項目がひとつでもあれば、犬生涯にわたっての飼養は難しいかもしれません。その項目に対応できるようになってから飼うようにしましょう。